

## 第 1 期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）

### 1 第 1 期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の経緯

平成 26 年 11 月 28 日、国は「まち・ひと・しごと創生法」を施行しました。これは、少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるためのものです。また、地域の住環境を確保することで、東京圏への人口集中を是正し、活力ある日本社会を維持していくことを目的としています。

この「まち・ひと・しごと創生法」に基づき平成 26 年 12 月、令和 42(2060)年に 1 億人程度の人口を確保する中長期展望を提示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、平成 27(2015)～令和元(2019)年度の 5 か年の政策目標・施策等を掲げた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。

「まち・ひと・しごと創生法<sup>※1</sup>」では、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が地方自治体の努力義務とされ、本市においても、人口動向や将来的な人口推計の分析を踏まえて中長期的な将来展望を示す「あま市人口ビジョン」を策定するとともに、平成 27(2015)～令和元(2019)年度の 5 か年を計画期間とする「あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「現戦略」という）を策定しました。

### 2 改訂理由

現戦略は基本目標に数値指標を、施策に K P I（重要業績評価指標）を設定し、あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会で評価・検証を行いながら、人口減少を抑える施策の一層の推進を図ってきました。

令和元年度末に現戦略の期間が満了することから、同年度中の次期戦略策定を予定していましたが、令和元年 12 月 20 日に閣議決定された国の「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略<sup>※2</sup>」では、新たな要素として S D G s（エス・ディー・ジーズ）<sup>※3</sup>やソサエティ 5.0<sup>※4</sup>等が追加され、すべての基本目標に横断的に反映されました。

法に基づき、市の次期戦略に国の「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案させ、さらに令和 2 年 3 月策定予定の愛知県の「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案させる期間を確保するため、現戦略の計画期間を一年延長したうえで次期戦略の策定作業を令和 2 年度に繰り越し、その間に次期戦略策定の議論を充実させることを、令和元年度第 2 回まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会に諮り、現戦略の期間を延長する改訂版を策定することとしました。

### 3 改訂後の戦略

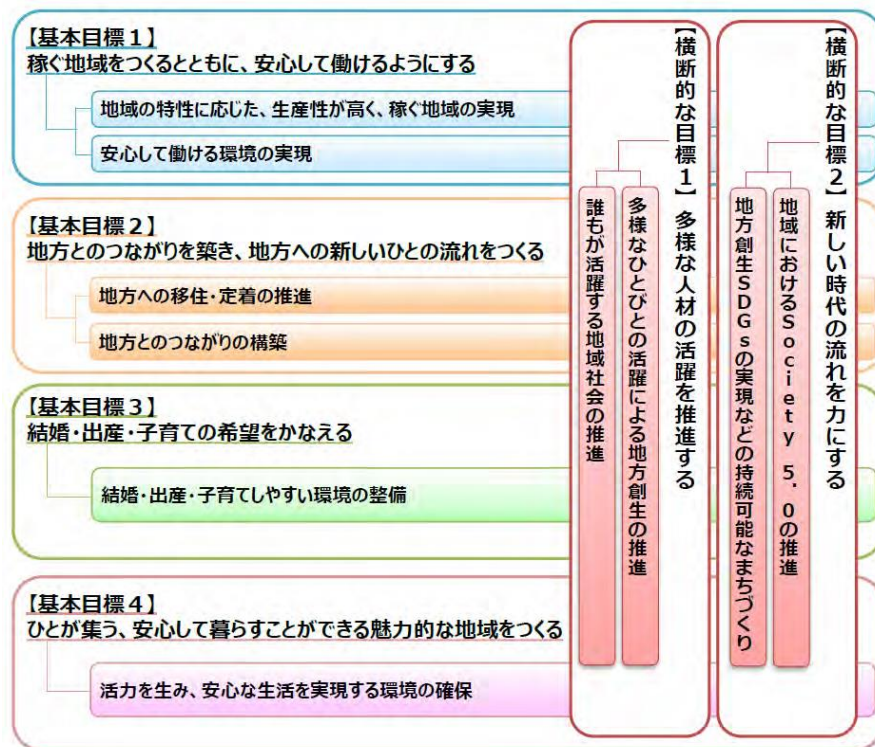
- (1) 計画期間を令和 2 年度末まで（現行：令和元年度末まで）延長します。
- (2) 基本目標及び K P I の目標年度を改め、目標数値を一部上方修正します。（目標値には、新型コロナウイルス等による特別な事情は、反映しておりません。）

※ 改訂後の「総合戦略」及び「基本目標・K P I 一覧表」（変更部分赤字記載）を添付。

※<sup>1</sup> まち・ひと・しごと創生法（抜粋）

第10条 市町村は、まち・ひと・しごと創生総合戦略（都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略が定められているときは、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略）を勘案して、当該市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならない

※<sup>2</sup> 国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（基本目標と横断的な目標）



※<sup>3</sup> SDGs（エス・ディー・ジーズ）

Sustainable Development Goals の略であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする先進国を含む国際社会全体の17の開発目標。

また、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（平成28年12月22日第2回持続可能な開発目標（SDGs）推進本部決定）（令和元年12月20日改定）において、政府及び各ステークホルダーは、各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては、SDGsを主流化することとされており、実施のための主要原則の1つに「包摂性」が示されている。

※<sup>4</sup> ソサエティ（Society）5.0

仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。または、すべての人とモノがインターネットでつながり、知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を見出す社会

（ソサエティ（Society）1.0は狩猟社会、2.0は農耕社会、3.0は工業社会、4.0は情報社会、5.0はスマート社会）